

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成28年12月22日(2016.12.22)

【公表番号】特表2016-501845(P2016-501845A)

【公表日】平成28年1月21日(2016.1.21)

【年通号数】公開・登録公報2016-005

【出願番号】特願2015-540806(P2015-540806)

【国際特許分類】

A 6 1 K 45/00 (2006.01)

A 6 1 K 31/517 (2006.01)

A 6 1 P 35/00 (2006.01)

A 6 1 P 13/08 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 45/00

A 6 1 K 31/517

A 6 1 P 35/00

A 6 1 P 13/08

【手続補正書】

【提出日】平成28年11月1日(2016.11.1)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

前立腺がんを処置するための医薬組成物であって、CDK8およびCDK19のうち1以上に対する選択的インヒビターの有効量を含む、前記医薬組成物。

【請求項2】

インヒビターが、CDK19を阻害する、請求項1に記載の医薬組成物。

【請求項3】

インヒビターが、CDK8を阻害する、請求項1に記載の医薬組成物。

【請求項4】

インヒビターが、CDK8およびCDK19を阻害する、請求項1に記載の医薬組成物。

【請求項5】

前立腺がんが、アンドロゲン非依存性である、請求項1に記載の医薬組成物。

【請求項6】

前立腺がんが、アンドロゲン受容体遺伝子の増幅、アンドロゲン受容体遺伝子の突然変異、アンドロゲン受容体のリガンド非依存性トランス活性化および細胞内アンドロゲン合成の活性化のうち1つまたは2つ以上に起因してアンドロゲン非依存性である、請求項5に記載の医薬組成物。

【請求項7】

インヒビターが、NF-Bの活性亢進を阻害する、請求項1または5に記載の医薬組成物。

【請求項8】

1種または2種以上の遺伝子が、ARによって阻害される、請求項1に記載の医薬組成物。

【請求項 9】

1種または2種以上の遺伝子のA Rによる阻害が、阻害されない、請求項8に記載の医薬組成物。

【請求項 10】

A Rによって阻害される1種または2種以上の遺伝子が、C D K 8を含む、請求項8または9に記載の医薬組成物。